

介護・福祉学びの収穫祭を開催します！

認知症についての市内中学生による学習成果や、市民のみなさんから寄せられた施設職員への感謝メッセージを展示します。併せて、各種講座も開催します。

とき	催し物・講座
11月7日(火) ～24日(金)	午前9時～午後5時 ※最終日は午後4時まで 市内中学生による学習成果、感謝メッセージの展示（申込不要）
11月7日(火)	午前10時～11時30分 相続とエンディングノートの書き方講座【定員25人】
	午後1時30分～3時30分 介護教室～プロに学ぶ介護のコツ～【定員20人】
11月8日(水)	午前10時～11時30分 認知症サポーター養成講座【定員25人】
	午後1時30分～3時30分 オレンジリングカフェ【定員25人】 ・アロマハンドトリートメント体験（希望者） ・「認知症と薬の話」講師：荏原健志さん（薬剤師）

- ・ところ 市役所1階 エントランスホール、つばめホール
- ・参加申込 講座前日までに長寿福祉課へ電話、またはホームページの申込フォームから（参加無料）。
- 問合せ・申込先 長寿福祉課 地域支援相談チーム ☎0256・77・8157



ボランティアを通して癒しを提供したい



ハンド*アロマ
代表 梅田 美子さん

ボランティアグループ「ハンド*アロマ」を発足させて11年。認知症の人やサポートする人たちに香りとタッチングによる心地よい時間を提供したいと考え、活動しています。

利用者からは「手が軽くなった」「毎回楽しみにしている」などの声をいただき、やりがいを感じています。実際に皆さんを癒すつもりが、反対に笑顔で元気をもらって癒されています。

ぜひ11月8日(水)のオレンジリングカフェでご体験ください。

また、アロマハンドトリートメントやアロマワークショップのボランティアを募集しています。興味のある人は気軽に会場へお越しください。



相談窓口のご紹介

まずはお気軽にご相談ください。

地域包括支援センター 高齢者に関する総合相談窓口です。必要に応じて訪問による相談も行います。

- 介護、福祉サービスの利用
- 認知症初期集中支援チーム
- 成年後見制度の利用
- 消費者被害の相談
- 介護予防教室の紹介
- 運転免許返納後の生活支援 など

相談窓口	電話番号	対象地域
地域包括支援センターおおまがり (特別養護老人ホーム 白ふじの里内)	0256・61・6165	西燕町、桜町、秋葉町二～四丁目、水道町一～四丁目、寿町、白山町一～三丁目、廿六木三・四区、小池、小池新町、柳山、杉名、杉柳、道金、八王寺、大曲、緑町
地域包括支援センターさわたり (特別養護老人ホーム さわたりの郷内)	0256・62・2900	南一～八丁目、井土巻、東町、小高、佐渡、灰方、灰方南、関崎、三王淵、二階堂、又新、勘新、小古津新、大船渡、小中川、新生町、花園町、小牧、栄町、中川、四ツ屋、次新、児ノ木、松橋、長渡、館野、長所、殿島一・二丁目、秋葉町一丁目、仲町、宮町、穀町、新町、朝日町、日之出町、幸町、本町一・二丁目、中央通一～五の三、下太田、新栄町、寺郷屋、前郷屋
吉田地区地域包括支援センター (ひまわりの園内)	0256・94・7676	吉田地区
分水地区地域包括支援センター (分水健康福祉プラザ内)	0256・97・7113	分水地区

燕市社会福祉協議会 地域福祉課

- 日常生活自立支援事業
- 成年後見制度の利用
- ☎0256・78・7020

燕市役所 長寿福祉課

- 認知症や介護予防などの相談 地域支援相談チーム ☎0256・77・8157
- 介護認定や介護保険などの相談 介護保険係 ☎0256・77・8177
- 在宅福祉サービスなどの相談 長寿福祉係 ☎0256・77・8175



インタビュー
「安心して暮らす」

軽度の認知症状のある吉田地区在住の80代女性と、生活のサポートをしている40代の女性の親子。症状に気づいた時や日常についてお話をうかがいました。

Q いつ頃から症状があると気づいたのですか？
母：2年くらい前だったと思います。母の物忘れが多くなり、地域包括支援センターに相談しました。そこで対応してくれた認知症初期集中支援チームの人から医療機関での受診を勧めていただき、母に行くように促しました。
母：最初は、そんなわけないと思っていましたが、認知症初期集中支援チームの人をはじめ、周りから行った方がよいということ、じゃあ行って診てもらおうかと決めました。
子：昨年5月に医療機関を受診し、軽度の認知症状が出ていたということで、現在は薬を飲みながら、進行を抑えています。
母：自分自身は、忘れることは多くありますが、健康で元気です。前と変わらず生活ができています。一緒に暮らす夫も私と同じように物忘れが多くなっていき、専門医に診てもらったことを勧められています。
Q 生活する上で不安はないですか？
母：大きな不安はありません。



ん。食事も娘がサポートしてくれ、家事も娘がサポートしてくれ、宅配弁当なども利用していますので、特別な不安はありません。家の中も階段の登り降りにはできませんし、何となく生活ができています。娘のほかに、近所に住んでいる親せきや知人が気にしてくれているので、安心です。
Q 現在の楽しみは？
母：これまでは家についてテレビを見て過ごすことが多かったです。現在、週3回ほどデイサービスに行き、そこで知り合った人々と会話することが楽しいですね。
子：私からも大人用のぬり絵を勧めました。そうしたら、ハマったように色鉛筆を手にして楽しんでるんですよ。父も書道が好きで、母のぬり絵と一緒に全国規模の作品展に出展しました。二人とも特選を受賞して、いい励みになってると思います。
母：家で過ごすことが多くありますが、人と話したり、何か趣味を持ちたりするとやはり楽しいです。こういうことが大切なのかもしれませんね。

▲1年前から始めた大人の塗り絵。つつい夢中になってしまうそうです。